

保護者からの事業所評価の集計表（公表）

公表 2020年(令和2年)12月28日

有限会社どれみ どれみ I

保護者等数(児童数) 46名

回収数 27名

回収率 59%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応等
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	85%	4%		11%		指導訓練室、ホール、事務室等を分け、利用人数の定員10名/日が、十分に活動できる広さを設けています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか(基準は児童5人に対して1名)	78%	4%		18%	・利用して間もないのでよくわかりません。	児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、機能訓練担当職員(ST・OT)と基準を十分に満たす人員配置をしております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか i)	81%			19%		事業所内では活動場面に応じて、場所を変える等、子どもたちが混乱しないように環境調整を行っています。また、段差等を極力無くしお子さまが安全に活動できるよう配慮しております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか	81%	4%		15%		業務後は、毎日事業所の職員が清掃を行い、清潔で心地よく過ごせる空間になるよう心掛けています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画(すくらむ)が作成されているか ii)	100%					半年ごとに児童発達支援管理責任者が、本人・保護者との面談を行い、ニーズや課題を把握し、客観的評価にはS-M社会生活能力検査を用いて、個別支援計画を作成しております。
	⑥	専門職が(ST・OT)が客観的に子どもの発達を評価し、適切な支援が行われているか	100%				・以前より小まめに支援して下さるようになって感じます。 ・OT、STで個別プログラムがあれば、なお良いと思いました。	ST又は、OTが個別・グループに介入しているお子さまには、検査結果等、客観的な評価を行い特別支援計画を作成し、計画に基づいた支援を行っております。
	⑦	個別支援計画に沿った支援が行われているか	100%					全てのお子さまに対して、個別支援計画を作成し、短期目標・長期目標に応じた支援を行っています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか iii)	89%			11%		活動プログラムは季節ごとや曜日ごとに異なります。保護者の皆様に見える化されるように連絡ノート等でより詳しく伝えていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11%	20%	4%	67%	・幼稚園に通っているのでも、どれみさん主催でもらう必要はないです。	児童発達支援をご利用のお子さまは、ほぼ地域の幼稚園・保育園に通園しており、児童発達をご利用されない日は、障害のないお子さまとの活動をしておりますので、交流については設定しておりません。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	76%	4%				ご契約時に、重要事項説明書に沿って、運営規定や利用者負担等の説明をさせていただいております。
	⑪	定期的に保護者に対して面談を行い、「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明が行われているか	89%	4%		7%	・希望をしてもう少し面談を増やしたいです。	全てのおお子さまの保護者様に対して、概ね半年ごとに面談を行い、個別支援計画の見直しを行っております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか iv)	33%	8%	15%	44%	・定期に出していただいているプリントや送迎時の時にアドバイスをいただいています。	今後は、コモンセンスペアレンティング初級指導者の資格を持つ職員を中心に、保護者様への家族支援プログラムを実施していく予定です。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	89%	7%		4%	・HUGになっても複数の先生方が活動の様子を入力して下さるので、とても分かりやすく写真も多くなったので助かります。	お電話、HUGで育児に関することもお気軽にご相談ください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	82%	7%	4%	7%		最低年2回以上の面談をさせていただいているので、育児に関することもお気軽にご相談ください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	74%	7%		19%	・お仕事されている方も多いので、なかなか保護者同士で知り合うことはできないですが、茶話会などの開催は今まで通りでいいと思います。	全事業所の保護者様が対象の「おしゃべりの会」に加えて、事業所ごとの「茶話会」を設けています。曜日を固定せず一人でも多くの保護者様が参加できるように設定しております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切対応されているか	82%			18%		事業所の電話番号の問い合わせ先を周知し、迅速に対応させていただいておりますが、支援時間中等は、対応が難しい場合は児童発達支援管理責任者が折り返し連絡をさせていただいております。

保護者等数(児童数) 46名

回収数 27名

回収率 59%

	チェック項目	回答状況			ご意見	ご意見を踏まえた対応等
		はい	どちらともいえない	いいえ		
保護者への説明等	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				連絡ノートの活用、電話でのやり取りで意思の疎通を図っております。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概念や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	93%	7%			今後も「どれみだより」「事業所お知らせ」、ホームページ、HUGマイページでの活動記録お知らせ等で情報を発信していきます。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	85%	4%		11%	お子さま一人ひとりの個人ファイルを作成し、他児の書類と混在しないように十分配慮しております。また、PCファイルは、ID・パスワードの入力をする事で管理しています。
非常時の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知、説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	70%	4%		26%	・HUGに記載されているので、すぐに見返すことが出来ています。 マニュアルの策定について、「月のお知らせ」「事業所お知らせ」「HUG」掲載し周知させていただいております。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他 必要な訓練が行われているか	63%	4%		23%	年に2回程度避難訓練を実施しております。訓練の様子などがわかるようにホームページ、HUG、事業所お知らせで保護者様にお伝えしていきます。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	81%	11%	4%	4%	・朝眠かたりすると、「行きたくない」と言いますが帰ってきたら「楽しかった」と話しています。 ・行きたがらなくても行ったら楽しかったと話しています。 今後も、専門的な発達支援をベースに、お子さまが楽しんでどれみに通所してもらえるように努力していきます。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	96%	4%			・HUGができてより分かりやすく夫とも情報共有しやすくなりました。 今後も、本人支援・家族支援・地域支援とそれぞれのお子様合った、発達支援をさせていただきます。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「個別支援計画」は児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。  
これは児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さまの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。  
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。